

## 解答

- 一 1 歴訪 2 肥料 3 祝祭 4 務（める） 5 絹織物  
6 差（して） 7 班 8 営（んで） 9 損（ねて） 10 居留守

- 二 問一 a エ b ア c イ  
問二 ア

科学の真理を究める（ということ）

ウ

私は、すべ

イ

ウ

（一）受動的な世間主義

（二）集団として社会でうまくやっていけるといふ点

- 三 問一 エ  
問二 イ

気象をよく観察して冠雪した富士を撮影できたとき。

I ア II ウ

何億年もあ

A 風裏に当たる斜面

B 滞っている雲の下

C 雲のかたまりがいつまでもはりついている

場所により気象条件が異なり、雲の状態が変化することも多い富士山は、常に見え方が変化すること。

しかし

エ

## 解説

- 一 問九 「集団として社会でうまくやっていくという意味において」、「持ちつ持たれつの関係がお互いが生き延びるために必要」で「そのような優れた文化がいまの日本では忘れられがちではないでしょうか」という筆者の主張を読みとりましょう。

- 二 問七 本文の後半に、「常に忙しく変化している」富士山の状態が描写されています。場所によって気象条件が異なること、同じ場所でも一瞬にして雲ができることなど、富士山の見え方に筆者が一喜一憂させられている様子が「あれほど忙しい山はない」と表現されています。